

第40回少年の主張全国大会開催要綱

～わたしの主張 2018～

1. 趣 旨 少子高齢化、国際化、情報化が急速に進み、環境が目まぐるしく変化する現代社会において、次代を担う子どもたちには、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける、健やかな成長が求められています。
そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などと共に、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらう力などを身に付けることが大切です。
少年の主張全国大会は、子どもたちにとって、これらの契機となることを願い実施するものです。
2. 開催日時 平成30年11月11日（日） 13時～16時
3. 開催場所 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
4. 対 象 日本在住の中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にあるもの。
※国籍は問わないが、日本語で発表できること。
なお、作品は未発表、自作のものに限ります。
5. 主 催 国立青少年教育振興機構
6. 協 力 都道府県、青少年育成都道府県民会議、全日本中学校長会
(予 定) 日本私立中学高等学校連合会、公益社団法人日本PTA全国協議会
7. 後 援 内閣府、文部科学省、東京都教育委員会、日本放送協会
(予 定) 一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会
社会福祉法人全国社会福祉協議会
8. 主張発表者（出場者）・発表内容
 - (1) 主 張 発 表 者 各都道府県より推薦された地方大会（都道府県大会）優秀者1名、計47名の中からブロック代表として選ばれた12名が主張発表を行います。
 - (2) ブロック代表定数 全国を5ブロックに分け、ブロック毎に出場者数を定め、それぞれの数のブロック代表を選出します。
 - 北海道・東北ブロック 2名
 - 関東・甲信越静ブロック 3名
 - 中部・近畿ブロック 3名
 - 中国・四国ブロック 2名
 - 九州ブロック 2名

(3) 発表内容

- ア. 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など。
- イ. 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど。
- ウ. テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など。

上記のような内容で、心からの思い、考えたことや感銘を受けたことなどを、少年らしい自由でユニークに、飾り気のない言葉でまとめたもの。

また、商業的な固有名詞の使用は極力避けるようにしてください。

(悪い例：〇〇県にある〇〇旅館 良い例：〇〇県にある旅館 など。)

(4) 発表時間 5分程度(400字詰原稿用紙 4枚程度)

9. 表彰

- (1) 全国大会出場者全員(12名)に国立青少年教育振興機構理事長より奨励賞、全国大会出場者に選考されなかった都道府県代表者全員(35名)に同理事長より努力賞を贈ります。
- (2) 全国大会の審査委員会で審査の上、内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・国立青少年教育振興機構理事長賞を選考し、賞状を授与します。また、審査委員会の審査過程によっては、審査委員会委員長賞が選考される場合があります。
- (3) 全国大会出場者全員(12名)に、記念品が贈呈されます。また、内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞・国立青少年教育振興機構理事長賞・審査委員会委員長賞を受賞された方には、副賞が贈呈されます。

10. その他

- (1) 応募は、各青少年育成都道府県民会議等を通して行います。
- (2) 全国大会に応募した作品の著作権は、国立青少年教育振興機構に帰属します。
- (3) 全国大会当日のプログラム、発表集には、本人の写真と氏名、学校名等を掲載いたします。
- (4) 全国大会実施後に作成する報告書(作品集)について、当日の実施風景をはじめ、全国大会に応募(推薦)された47作品全てを掲載し、本人の氏名及び学校名等を公開するとともに、関係機関に配布します。

※ 全国大会当日の発表の様子や審査結果については、本人の氏名及び学校名等をWEB上でも公開します。

- (5) 全国大会出場者で希望する方は、受賞した翌年に当機構が実施する「ミクロネシア諸島自然体験交流事業(7月~8月、約1週間)の参加者(中学生の場合)またはサブリーダー(高校生の場合)として参加することができます。(経費は当機構負担)

11. 問い合わせ

国立青少年教育振興機構

教育事業部事業課 事業係

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

T e l (03) 6407-7683

F a x (03) 6407-7699

E-mail honbu-jigyokakari@niye.go.jp